

資本主義は社会主義に必ず変わる

『空想より科学へ社会主義の発展』に学ぶ

第12回 東京ブロック

日本における社会主義への道

司会Ⅱ「空想より科学へ」の学習会も最終回を迎えました。この一年間の締めくくりとして「日本における社会主義への道」と題して討論を進めます。はじめに、これまでの学習の内容を簡単に振り返ってください。

MⅡ第一章では、空想的社会主義者についてでしたが、おもに、これまでの哲学の歴史的発展、フランス革命を契機として生まれた近代ヨーロッパの啓蒙主義からロバート・オウエンなどの空想的社会主義者の登場までを学びました。

第二章では、弁証法的唯物論ですが、

社会主義が科学として確立される過程を学びます。それが「唯物史観」、「剰余価値」の発見であり、マルクス・エンゲルスがそこに至るまでの哲学的・経済学的な研究が何であったかを学びました。

第三章は、締めくくりの学習で提起された、「日本における社会主義への道」に関連する、「資本主義の発展」です。おもに前章で明らかにした「唯物史観」の発見で科学的社会主義がどのように発展してきたのか、そしてその発見により、資本主義的生産の運動法則の中に社会主義社会への発展

という必然性が解き明かされています。司会Ⅱさて、Mさんからこれまでの学習のあらましが述べられました。補足の質問はありますか。

G TⅡ私は『空想より科学へ』の本を手にしたのは今回講座がきっかけでした。先輩からは資本主義社会は社会主義社会に変わることが必然である、と聞かされてきました。それでも自分の考え方では本当にそうなのか、といった疑問を持ち続けてきました。そのような私ですから、本当に分かったとなっていない。そこで質問を一点にわたって用意しました。一つは、なぜ3

◆みんなの学習講座

人の空想的社会主義者、フリーエ、サンシモン、オーウエンをエンゲルスやマルクスが、偉大なとして、大きく位置づけたのかです。そして二点目は、科学的社会主義の確立についてです。司会II GTさんから二点の質問がありました。一つずつ討論していきますよ。空想的社会主義者が偉大だったのはなぜから。

FKII 空想的社会主義者を偉大な、と何故エンゲルスが言うのかということですが、啓蒙主義者が言うところの「自由・平等・博愛」では、資本主義社会で生じる矛盾、これを解決できないと考えた点です。3人に共通しているのが社会改造しか矛盾を解決できないと考えたことです。彼ら空想的社会主義者の功績は、資本主義から社会主義への道筋を示した、ということが重要でした。このような意味でも「偉大」な、とマルクス・エンゲルスが考えたのも当然でした。

司会II さて、二点目は科学的社会主義の確立がどのようにして生まれたかです。

FKII まず、3人の空想的社会主義者の歴史的境界は何かと言うこと、それはプロレタリアートの成長を見ることが出来ませんでした。彼等の時代は、地方的蜂起や反抗などがありました。労働者の階級的成長という点では組織されたものではありませんでした。彼ら空想的社会主義者にとつて、社会変革の担い手を発見できなかったのです。

何故、彼等が空想的であったかは、本文で「ある特定の階級を解放しようとしないうで、いきなり全人類を解放しようとした」、ことにあります。もっともそれに続く本文では「啓蒙主義の原理に従って打ち立てられたブルジョアの世界」を非理性的とも考えていました。彼らが、社会変革を目指していたからです。マルクスとエンゲルスは社会の発展を唯物弁証法的に捉えてい

ましたから、変革の主体の発見という極めて重要な点に到達していません。彼等が発見できなかった階級、プロレタリアートですね。

司会II さて、第一章の補足的な討論でした。続いて第二章に入りたいのですが。

UTII 質問をします。「ヘーゲル弁証法の功績と批判」です。ヘーゲル哲学がマルクスやエンゲルスに与えた影響、そしてヘーゲル弁証法を批判的に捉えた事で、彼等は近代唯物論によって「唯物史観」の発見につながるのです。併が、ここを詳しく知りたいのです。併せて、剰余価値の発見が唯物史観にどのような影響があったのかです。

司会II UTIIさんの質問は、ヘーゲル弁証法とマルクスやエンゲルスの唯物史観の発見についてです。

FKII ヘーゲル哲学の弁証法は古代からの弁証法が歴史的・論理的であったことです。本文57ページに「自然と

歴史と精神の全世界がここにはじめて一つの過程として説明されるようになった」と、とエンゲルスは評価している。要約すると、「単純で低いものから複雑で高いものに到達する」という過程を、自然、歴史、精神」に当てはめて説いたことです。この発展という過程をたどる弁証法はこれまでの弁証法を総括したものでしょう。マルクス・エンゲルスも「発展」ということではヘーゲル弁証法から多くのことを学びました。しかし、ヘーゲルは、「事物」の運動から離れて、「絶対理念」へ行きつき、具体的なものから、精神としての抽象的發展になります。ヘーゲルは「絶対理念」では自然が精神から生み出されると説いています。ヘーゲルが観念論者としてエンゲルスなどに批判されたのはこのことです。そして、エンゲルスは、本文の中で、「ヘーゲルの体系は巨大な流産であった」と延べ、ヘーゲル哲学は「一切の

ものは逆立ちさせられ、世界の現実の関連は完全に顛倒された」として、58ページで述べられています。ここまではどおりつきながら、ヘーゲルは観念論者であったこと、事物と世界はあらかじめ存在しているとし、事物は「理念」(イデー)が模写するものとヘーゲルが考えたことにあります。それに対し、エンゲルスは自然科学の進歩を総括して、「自然も天体も生物と同じに発生し、消滅するもので、・・・循環運動は許される限り無限にひろがるものである」と、60ページから62ページにかけて述べています。UTT逆立ちしたというのは具体的に何が。FKIIそれは世界観を巡ってです。人間存在について、「精神」を主として考える立場が観念論です。ヘーゲルが「理念」が模写すると考えたことを指しています。

さて、マルクス・エンゲルスは先ず目の前に広がる事実の中に弁証法的発展がどのように現われたのかを見ました。腐乱し革命や、1831年のリヨンの労働者蜂起、38年から42年までのチャーティスト運動などから、ブルジョアジーに対する労働者の反抗、闘争が社会変革の革命の原動力として把握されていきます。「存在から説明する」彼等の世界観です。次の、剰余価値と唯物史観の発見と相互の関係についてですね。資本主義社会の根本的矛盾「搾取」が、マルクスとエンゲルスは経済学研究により、「剰余価値」によるものと明らかにしたことです。唯物史観の発見は社会革命を、生産関係のうちに見、その中で労働者階級の階級闘争が必然的である、と考えたことによりです。司会IIでは第三章の補足は何ですか。TKII一切の社会的変化と政治的変革の究極原因は「生産と交換方法に求む

◆ みんなの学習講座



リヨンの労働者蜂起

べきである」とありますが、分かりづ
らいですね。

UFII現実の生活は政治によって変わ



チャーティスト運動

ると思ってきました。しかし、マルク
スとエンゲルスは、先に「生産と交
換」の変化、経済構造の変化ですが、
「生産という与えられた物質的事実の
中に、頭をつかつて発見されるべきも
のであること」(P 65)と断言してい

ます。変革や革命ということが過去の
事実として見られるならば、経済のう
ちに変革を捉えるべきです。資本主義
の発展も同様です。「封建制度の地方
的及び身分的特権とも相容れぬもので
あった」とテキストで言われています
が、資本主義的生産方法は、「人間の
面倒くさい相互関係とも相容れぬもの
である」とし、ブルジョア革命「資本
主義への発展を見ています。TKさん
の質問である「生産と交換方法に求む
べきである」はそのように考えるべき
ですね。

空想より科学へ

日本における社会主義への道

司会II質問者への答えが長くなりまし
たが、これからは学習を通じた討論を
進めます。

日々の生活や運動を通してつかんだ
矛盾、変化発展を報告してください。

TKII、妻は最近、テレビにぶつぶついう、それは今の生活が良くなるなら、借金生活で退職金切り崩し、そのような生活の矛盾です。

WII安倍政権の支持率が下がらないのはマスコミの誘導、世論操作がありまですね。最近ではSNS、ツイッターなど、世論を動かす大きな政権の武器になっていますから。

SKIIネットの中では右派の主張が飛びかっていますね。それで「安倍のやっている感」、安倍が何かやってくれるといった期待が特に若者にはあるある。一方、左派は何やってくれんだと、左派の主張をもっとボーンと前に出せないのはなぜか、と。

KHII私が勤めた電車修理職場の子会社では、プロパーの高卒初任給が15万円プラス調整給1万5000円です。家族がある中途採用の人は途中で辞めていくんです。正規社員と非正規社員の格差問題です。

SKIIAさんは一生懸命努力してこうやりたいという理想がある。旅行会社に勤めて契約社員で頑張ったけど正社員になれない。この矛盾はどこから来るのかを考えて、学習会で社会の仕組みをもう一回勉強しようとなってきた。

SNII息子は病院に勤めて2年になるんですけど、休み時間がなかなか取れないので仲間だとか上司に話すと、帰ってくる答えは「こいう病院なんだから患者が何かあった時、ボランティアでやるから休みがあってもなくてもそういう精神で働きなさい」といつている。やっぱりブラック企業だといっている。

ブラック企業の社会的蔓延ですね。

OKII私はN君の成長から現在まなんでいます。彼は、NTT職場の非正規で正社員を夢みていた。ところが10年たっても賃金も労働条件もよくなるないので、N関旁に加入した。しかし、

一年もたたないうちに契約主が派遣会社に移り職場統廃合で職場が無くなり雇止めを通告された。そこでNTTと派遣会社相手の闘いを経験します。闘いの中で敵がだれかをつかんでいます。司会IIそれぞれの矛盾は分りましたが、社会主義への展望はどう思っていますか。

SNII私も唯物史観を勉強してきたんですけど、「あるよな」、「ないよな」と揺れ動く。学習をやめませんが皆さんはどうでしょう？

UFII我々の生きている間はないと思うよ。

GTII何でそのように考えるの？

UFII自分の周りや家族の意識だね。

SNII韓国やヨーロッパではデモとかストライキやっているけど、日本も70年代にはデモやストライキ経験しましたね。韓国のように若者が動くしかない。「ロウソク革命」はまなぶ価値があると思っています。

◆みんなの学習講座



フランス、「黄色いベスト」運動



韓国、「ロウソク革命」



米騒動

FKII日本でも、戦前は米騒動とかメーデーとか。その後、三池闘争だとか、そして、70年代の国民春闘の歴史がある。社会主義への道の一つだと思っ
んですよ。このような変化をこの学習
で確信できたと思っています。

司会II世界の社会主義建設については
ベネズエラ、マドゥーロ政権が挑戦し
ています。それだけでなく、キューバ
はアメリカの干渉に惑わず社会主義建
設を揺るぎなく進めています。さらに
フランスの「黄色いベスト」運動や、
アメリカの若者たちの『資本論』学習
などがありますね。

ONIIベネズエラ集会へいってきまし

た。現状はアメリカのあらゆる制裁で
ベネズエラ経済の混乱が起きています。
国民の不安をおおひ、政権転覆を画策
しています。しかし、マドゥーロ政権
は、民主的で平和で誰もが暮らしやす
い国づくりを目指し、社会主義建設に
は「コミュニケーション」の支える力があると
言っています。

MII学習を通して私が実感したのは、
唯物史観とは何ぞや、というのを掘ん
だかです。唯物史観は歴史の発展法則
を著したものなんだけど社会はどうや
って発展してきたかです。この討論で
はつきりさせることができました。

TTII世界の動き、特に社会主義運動
などを日本マスコミは伝えないが、展
望が開けた気がしますね。激動の時代
ですね。

司会II一年間お疲れ様でした。最後は
皆さんの討論に表れる日常生活の現象
面がなぜ怒るのかという、本質に迫る
学習を続けていきたいと思います。